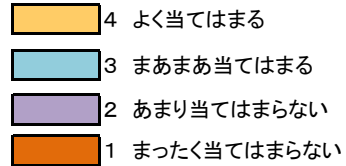


保護者アンケート結果と今後の方針

1 調査の概要

- (1) 調査日:平成30年12月19日(水)~25日(火)
- (2) 調査対象:342名 (1年106名 2年121名 3年115名)
- (3) 回収率: 65.2% ※H29:71.9%
- (4) 調査方法:質問紙(19項目)における選択肢回答



II 分析に当たって

- (1) 全体の肯定割合(4および3を選択した割合)を昨年度調査と比較し、上昇・下降について「↑」「↓」と示している。
- (2) 肯定割合の昨年度比を、次のように類型化してグラフ右横に記号で記した。
 - ☆ 昨年度の肯定割合が90%以上 且つ 前年度比+6以上 ⇒ 南中の特色、強みとしてさらなる充実を図る
 - ◎ 昨年度比 +5~+9% ⇒ 高みを目指した評価項目の検討を視野に入れる
 - " ±0~+4% ⇒ 全校(学年)体制で、工夫改善を図りながら継続実践する
 - ▽ " -1~-4% ⇒ " また、肯定割合が著しく低い学年は、重点的に取り組む
 - ▼ " -5~-9% ⇒ 全体的に計画等を見直し、課題解決に向けて共通実践する
 - × " -10%以下 ⇒ 長・短期計画を作成し、早急に改善策を講ずる

<学校づくりの視点から>

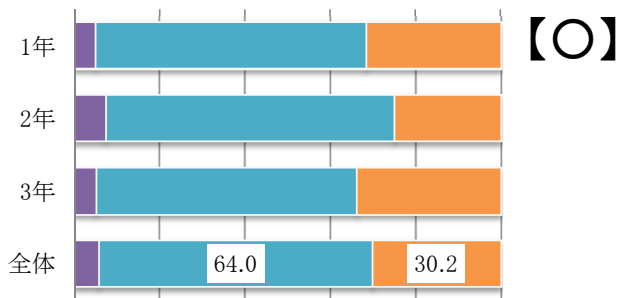
ア 学校は、学校教育目標『志に生きる～夢と誇りをもって、前向きに～』をPTAや校報、学校ホームページなどで分かりやすく伝えている

ア	1	2	3	4
1年	0.0	4.9	63.4	31.7
2年	0.0	7.5	67.5	25.0
3年	0.0	5.1	61.0	33.9
全体	0.0	5.8	64.0	30.2

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合93% H30肯定割合94%(昨年度比 1%↑)

◆3年連続で肯定割合が9割を超えた。年2回、生徒を対象に実施してきた教育目標アンケートでも、目標を書くことができる生徒が毎回増加し、今年度は9割を超えた。掲示物や各種通信等による情報発信の工夫、「喜び・感動・笑顔大賞」などの取組の成果と捉える。



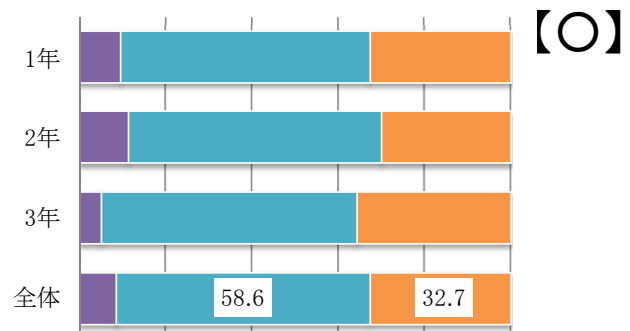
イ 学校は、3年間を見通し子どもの成長がみえる教育活動を行っている

イ	1	2	3	4
1年	0.0	9.6	57.8	32.5
2年	0.0	11.3	58.8	30.0
3年	0.0	5.1	59.3	35.6
全体	0.0	8.7	58.6	32.7

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合90% H30肯定割合91%(昨年度比 1%↑)

◆本校の目指す生徒像を掲示物や印刷物で分かりやすく伝えてきた。今後も3年間でどのように育てたいかを伝えるとともに、生活状況や学習成績等を生徒・保護者に伝える際には、前年度からどれくらい伸びたか、どれくらい変化したか、目標にどれくらい近づいているかという視点から助言等を行っている



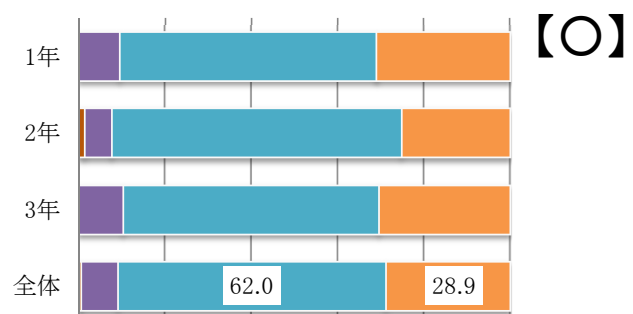
ウ 学校は、学区小学校や地域と連携して教育活動を行っている

ウ	1	2	3	4
1年	0.0	9.5	59.5	31.0
2年	1.3	6.3	67.1	25.3
3年	0.0	10.2	59.3	30.5
全体	0.4	8.7	62.0	28.9

【結果概要と今後の方針】

H29 肯定割合88% H30肯定割合91%(昨年度比 3%↑)

◆小学校との連携については、依然十分ではないと捉えている。地域連携については、職場体験や地域貢献活動について学年通信や学年PTAでのプレゼンテーションで紹介してきた。引き続き、生徒主体の活動となるよう工夫改善に努めていく。

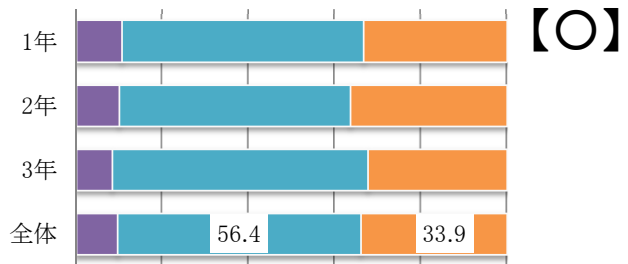


工 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている

工	1	2	3	4
1年	0.0	10.7	56.0	33.3
2年	0.0	10.0	53.8	36.3
3年	0.0	8.5	59.3	32.2
全体	0.0	9.7	56.4	33.9

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合86% H30肯定割合90% (昨年度比 4%↑)
 ◆昨年度と同様に上昇しており、学年が進むにつれて否定割合が低下。表中の1(まったくあてはまらない)が「0」となるよう、保護者への丁寧な対応を心掛けてきた成果と捉える。今後も連絡、意思疎通のあり方について、職員間で共通理解していく。

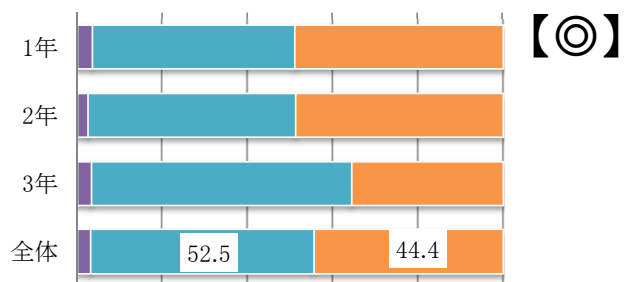


オ 学校は、保護者への文書・各種便り・メール配信等、適切に情報発信している

オ	1	2	3	4
1年	0.0	3.6	47.6	48.8
2年	0.0	2.5	48.8	48.8
3年	0.0	3.4	61.0	35.6
全体	0.0	3.2	52.5	44.4

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合92% H30肯定割合97% (昨年度比 5%↑)
 ◆学年通信等で、子どもの様子や活躍をタイムリーに分かりやすく伝えるように努めてきた。今後も図や写真を効果的に取り入れ、さらに読みやすくなるようにしていく。また、一斉メールで学校行事や災害に関する情報を迅速に伝えるようにする。

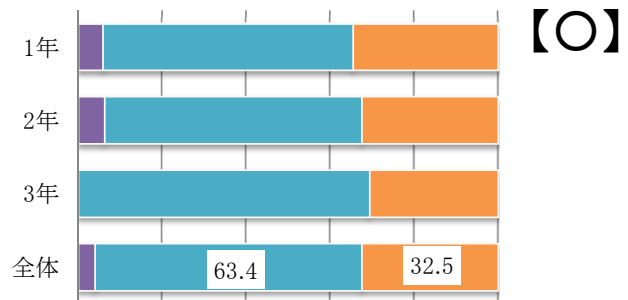


カ 学校は、様々な事故・災害を想定し、機会をとらえ適切に指導している

カ	1	2	3	4
1年	0.0	6.0	59.5	34.5
2年	0.0	6.3	61.3	32.5
3年	0.0	0.0	69.5	30.5
全体	0.0	4.1	63.4	32.5

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合94% H30肯定割合96% (昨年度比 2%↑)
 ◆昼休みに不審者が校内に侵入したことを想定した訓練は、臨場感があり効果的であったと捉えている。今後も事後指導の充実を図るとともに訓練内容の見直しによりマンネリ化を防ぐ。また、大雨や台風、猛暑、感染症の流行などについて、メールや文書等で機を逃さず適切に伝えていく。

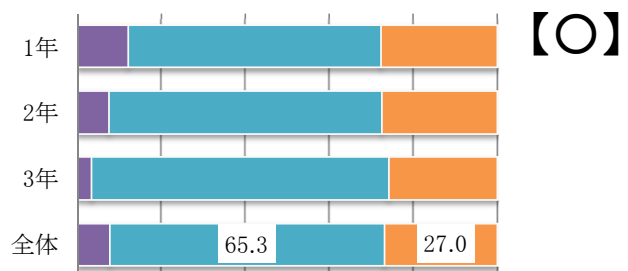


キ 学校は、PTAや後援会・同窓会などとも密接に連携し、教育活動の充実を図っている

キ	1	2	3	4
1年	0.0	12.0	60.2	27.7
2年	0.0	7.5	65.0	27.5
3年	0.0	3.4	70.7	25.9
全体	0.0	7.6	65.3	27.0

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合90% H30肯定割合92% (昨年度比 2%↑)
 ◆後援会・同窓会からの変わらぬご支援に感謝申し上げます。PTA活動については、本校独自の協力員(運営委員)の意義やしくみ、活動状況について更なる周知を図り、会員の理解を深めるとともに活動の充実を図っていく。



<学力づくりの視点から>

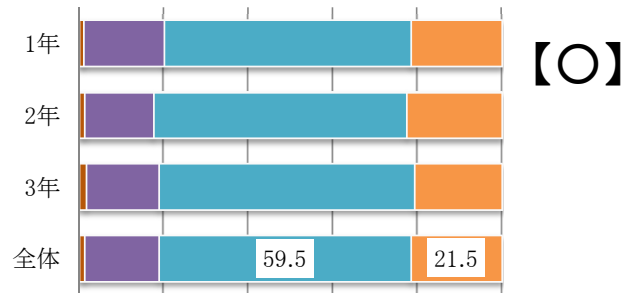
ク 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている

ク	1	2	3	4
1年	1.2	19.0	58.3	21.4
2年	1.3	16.3	60.0	22.5
3年	1.7	17.2	60.3	20.7
全体	1.4	17.5	59.5	21.5

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合81% H30肯定割合81% (昨年度比 ±0)

◆昨年度と同様に肯定割合8割を上回ったが、生徒アンケートの結果(肯定割合91%)よりも低い。授業改善に関する職員研修等を一層推進するとともに、校報等で周知を図っていく。



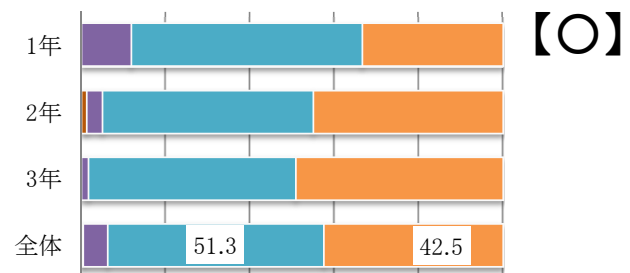
ケ 学校での学習・生活の様子は、学年(学級)通信等でよく知ることができる

ケ	1	2	3	4
1年	0.0	11.9	54.8	33.3
2年	1.3	3.8	50.0	45.0
3年	0.0	1.7	49.2	49.2
全体	0.4	5.8	51.3	42.5

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合94% H30肯定割合94% (昨年度比 ±0)

◆昨年度に続き、9割を越える高い肯定率であった。学年通信や学級通信で、生徒たちの活躍や生活の様子を分かりやすく伝えようと工夫してきた成果と捉えている。読み手が興味をもちやすいようにレイアウトを工夫したり、簡潔で読みやすい文章にしたりしながら、更に改善していく。



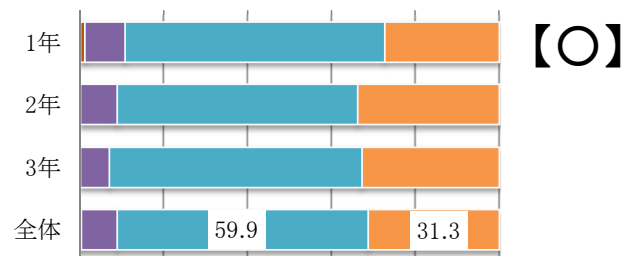
コ 先生は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価し励ましている

コ	1	2	3	4
1年	1.2	9.5	61.9	27.4
2年	0.0	8.8	57.5	33.8
3年	0.0	6.9	60.3	32.8
全体	0.4	8.4	59.9	31.3

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合91% H30肯定割合91% (昨年度比 ±0)

◆昨年度に続き肯定割合が9割を越えた。否定的な保護者が1割いることも考慮しながら、今後も生徒のよさに目を向けながら、生徒自身が自分の課題や改善点について納得し、見通しをもって取り組めるよう、適切かつ公平な評価に基づく具体的な助言ができる教師集団を目指して研修に努めていく。



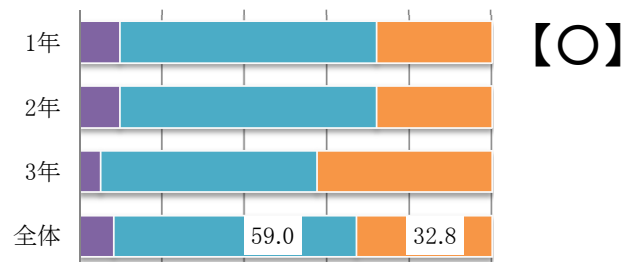
サ 学校は、進路に関して進路通信や学年通信等により適切に、情報を提供している

サ	1	2	3	4
1年	0.0	9.8	62.2	28.0
2年	0.0	9.8	62.2	28.0
3年	0.0	5.1	52.5	42.4
全体	0.0	8.2	59.0	32.8

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合90% H30肯定割合92% (昨年度比 2%↑)

◆昨年に続き肯定割合が9割を超えており状況は良好と考えるが、生徒アンケート「サ」が87%にとどまっているので、今後もキャリア教育の視点で進路学習を充実させるとともに、各種通信等による情報提供に努めていく。

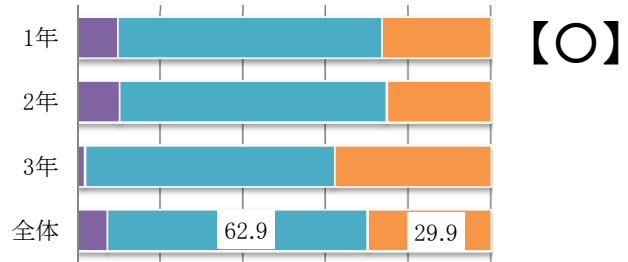


シ 学校は、「道徳の時間」を中核に豊かな心をもった子どもの育成に努めている

シ	1	2	3	4
1年	0.0	9.6	63.9	26.5
2年	0.0	10.1	64.6	25.3
3年	0.0	1.7	60.3	37.9
全体	0.0	7.1	62.9	29.9

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合89% H30肯定割合93% (昨年度比 4%↑)
 ◆昨年同様に肯定割合が4%上昇し、9割を越えた。職員同士が道徳の時間の授業を公開し、授業の記録を校内に掲示するなどの取組を継続してきた成果と捉える。今後は、道徳の教科化に伴う校内研修の充実を図るとともに、各種通信等で本校の取組について保護者に知らせていく。



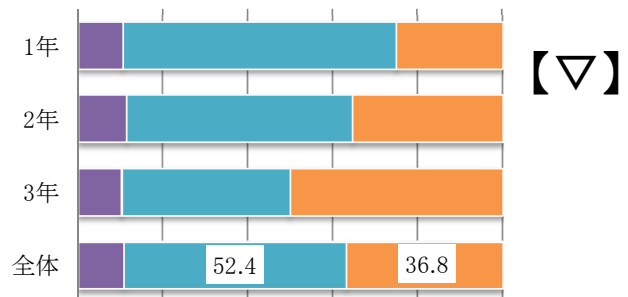
<人づくりの視点から>

ス 学校は、総合的な学習の時間などで、福祉・健康・ボランティア等の教育課題や自己の将来を考える学習などを通して、自分の生き方を考えさせている

ス	1	2	3	4
1年	0.0	10.7	64.3	25.0
2年	0.0	11.4	53.2	35.4
3年	0.0	10.3	39.7	50.0
全体	0.0	10.8	52.4	36.8

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合92% H30肯定割合89% (昨年度比 3%↓)
 ◆本項目は人づくりの視点からも重要と考えるので、事前事後の学習を充実させ、各種通信等で活動の様子を保護者に伝えることによって、さらなる向上を図っていく。

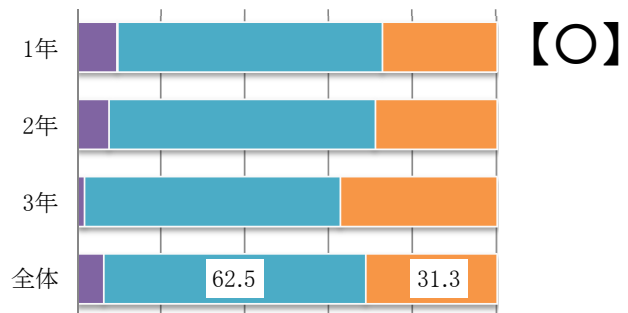


セ 学校は、規範意識を高め、子どもに落ち着いた生活をさせている

セ	1	2	3	4
1年	0.0	9.5	63.1	27.4
2年	0.0	7.6	63.3	29.1
3年	0.0	1.7	61.0	37.3
全体	0.0	6.3	62.5	31.3

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合94% H30肯定割合94% (昨年度比 ±0)
 ◆教育視察に来校した方々からも、全体的に落ち着いて学習等に取り組んでいるとの講評を得ており、家庭での躾や心の安定が学校生活に反映している結果と捉えている。今後も家庭と一体となって、子どもの心に響く指導の充実に努めていく。

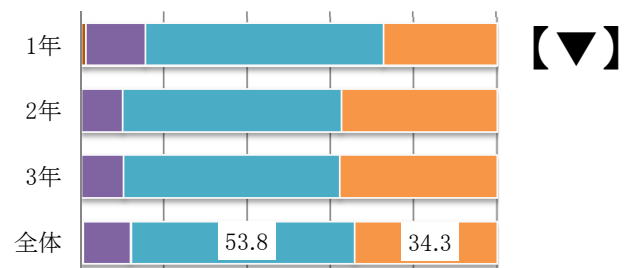


ソ 学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている

ソ	1	2	3	4
1年	1.2	14.3	57.1	27.4
2年	0.0	10.0	52.5	37.5
3年	0.0	10.3	51.7	37.9
全体	0.4	11.5	53.8	34.3

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合93% H30肯定割合88% (昨年度比 5%↓)
 ◆肯定割合が昨年度から5%、一昨年度から9%程度低下した。生徒と教師の信頼関係を更に深め、規律ある生活の中にも和やかな雰囲気を作り出すよう努める。また、不安を抱えながら学校生活を送っている生徒もいる状況を踏まえ、一人一人の生徒が活躍できる場の充実に努めていく。



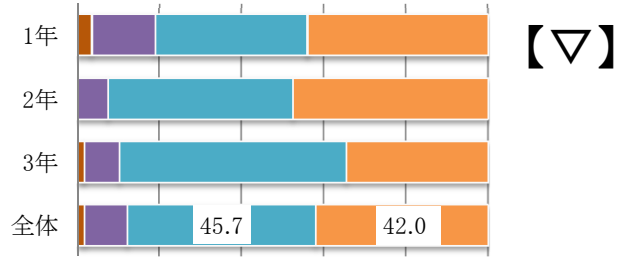
タ 子どもは学校へ行くのが楽しいと言っている

タ	1	2	3	4
1年	3.6	15.5	36.9	44.0
2年	0.0	7.5	45.0	47.5
3年	1.7	8.6	55.2	34.5
全体	1.8	10.5	45.7	42.0

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合92% H30肯定割合88% (昨年度比 4%↓)

◆生徒アンケート「ア」では肯定割合が94%(昨年度 1%↑)で、生徒については良好と捉える。肯定率が低い1年生については、生徒が88%、保護者が81%となっている。例年、学年が進むにつれて肯定割合が増加することを考え合わせると、中1ギャップを乗り越えていくよう、長い目で見て支援していくことが重要と考える。また、保護者の期待に応えるためにも、小中連携の充実に努めていく。



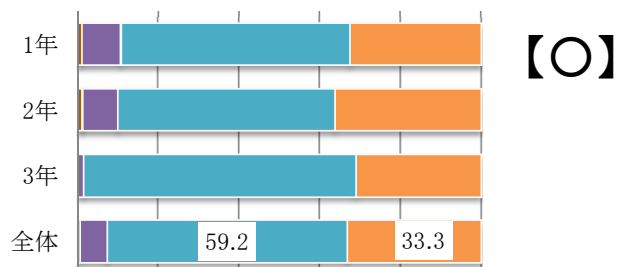
チ 学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる

チ	1	2	3	4
1年	1.2	9.6	56.6	32.5
2年	1.3	8.8	53.8	36.3
3年	0.0	1.7	67.2	31.0
全体	0.8	6.7	59.2	33.3

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合91% H30肯定割合93% (昨年度比 2%↑)

◆生活アンケートの結果、スタディライフの記述、日常の触れ合いと観察をもとに生徒の小さな変化も見逃さず、積極的に聞き取りや声掛けを行い、保護者にこまめに連絡する攻めの生徒指導を行うことで、生徒や保護者の気持ちに寄り添った迅速かつ適切な問題解決にあたっていく。



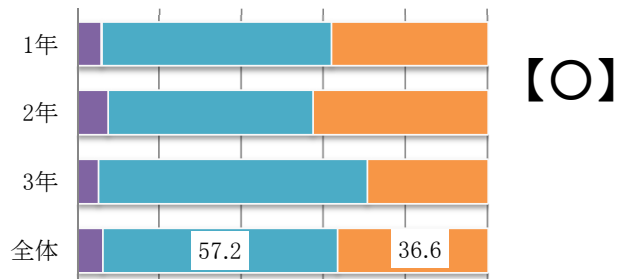
ツ 先生は、スタディライフや日常的な触れ合いを通じて子どものことをよく理解している

ツ	1	2	3	4
1年	0.0	6.0	56.0	38.1
2年	0.0	7.5	50.0	42.5
3年	0.0	5.2	65.5	29.3
全体	0.0	6.2	57.2	36.6

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合93% H30肯定割合94% (昨年度比 1%↑)

◆生徒と学級担任とのコミュにケーションツールであるスタディライフを慎重かつ有効に活用するとともに、保護者との情報交換を密にして、相互理解を基にした信頼関係を築くよう努めていく。



テ 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる

テ	1	2	3	4
1年	1.2	7.1	60.7	31.0
2年	0.0	8.8	55.0	36.3
3年	0.0	5.2	58.6	36.2
全体	0.4	7.0	58.1	34.5

【結果概要と今後の方針】

H29肯定割合92% H30肯定割合93% (昨年度比 1%↑)

◆生徒、保護者、教師がいじめの定義を再確認して人権感覚を磨くとともに、いじめは、いつでも、どこでも、どの子どもにも起こりうるものであるということを共通理解する。今後も自分と同じように他を大切にすることを指導し、どの生徒も友人や教師から認められ生き生きと活動している学校づくりに努める。

